

補助事業番号： 20-27

補助事業名： 平成 20 年度 個人化情報の活用と管理技術の標準化調査研究補助事業

補助事業者名： 財団法人 日本規格協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

1) 個人化情報の活用と管理技術の標準化調査研究補助事業

個人化情報の活用と管理技術の標準化に関する調査研究を行い、情報化社会における生活支援及び安全性の確保を目指し、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容<http://www.jsa.or.jp/stdz/instac/index.htm>

1) 個人化情報交換のための標準化調査研究委員会

情報機器に設定する操作者固有の機能特性に関する情報標準化要素について、以下の調査・検討を行った。

①WG1（プロパティリスト作成）

a) 情報家電（AV 機器に特化）のプロパティリスト作成のために必要な要素（前述した主要な属性（プロパティ）等）を分析、整理、サービスレベルの推奨分け等を検討し取り纏めを行った。

b) プロパティリスト一次案の作成

c) 関連動向調査

個人化設定の事例として DLNA、vCARD、自動車、KIOSK 端末等の関連動向を調査した。

d) 関連技術調査

関連技術として、PC 間の個人化データ設定の移行、スタイルシートのフォーマット等を調査した。

②WG2（標準化要素技術のドキュメント化）

a) 本方策を進める上で必要なソフトウェア技術（記述、交換など）に係る要素を調査し、ドキュメント化（基礎的な規格の抽出及び標準化の推進等）を行った。

b) 次の 3 件の JIS 原案を作成した。

・ インデクシング言語トピックマップ-4（TM-4）

[JIS X 4157-2：200X トピックマップ-第 4 部：正準化]

・ 拡張可能なスタイルシート言語 (XSL 1.1)

[JIS X xxxx:2009 拡張可能なスタイルシート言語 (XSL 1.1)]

・ 文字レパートリ記述言語 (DSDL-7)

[JIS X 4177-7：200X 文書スキーマ定義言語 (DSDL)-第 7 部：文字レパートリ記述言語]

2) アイデンティティ管理技術の標準化調査研究委員会

アイデンティティ管理技術を取り扱うために必要な標準化要素の抽出について、以下の調査・検討を行った。

①アイデンティティ連携に係る規格の標準化動向を調査し、アイデンティティ連携に参加するアイデンティティの信頼性を保証することの重要性を見出した。アイデンティティの信頼性保障に関する標準化と関連して ISO/IEC の EAA (Entity Authentication Assurance) 規格、リバティアライアンスの IAF (Identity Assurance Framework) 規格など、JIS 化を前提に規定内容を紹介すべきいくつかの規格を抽出した。

- ②本人認証に関連して、国内外の個人認証制度の現状、医療分野におけるアイデンティティ管理の検討状況、クレジットカード業界における顧客情報のセキュリティ管理要件及び関連規格につき調査した。
- ③アイデンティティ連携及び本人認証の双方に関連して、サーバ連携型 IC カードに関する調査を行い、アイデンティティ管理に対する要件を検討した。
- ④調査結果を取り纏め、アイデンティティ連携に参加するアイデンティティの信頼性を保証することに関連して、検討すべき規格の候補を提言として取りまとめ、報告書を作成した。

2. 予想される事業実施効果

(1) 個人化情報交換のための標準化調査研究

- 1) 使用する情報機器へ個人化情報が簡単・正確に継承されるため、情報機器を利用したい時の煩雑な設定というバリアーがなくなる。
- 2) 情報サービスの場への人の移動と情報アクセス行動が活発となる。
- 3) 色々な場所で戸惑わずに情報機器を設定し情報にアクセスできるようになるため、情報機器を利用する人・場面は拡大する。
- 4) 情報活動によって人々は暮らしの中で刺激が与えられ、また人流・物流が促される。
- 5) 人流・物流により、交通機関・購買市場の活性化、運輸物流機械需要の増大、情報関連機器の需要拡大がもたらされる。
- 6) ひいては、わが国の情報社会、情報関連産業、機械工業の振興、経済の活性化にも寄与できる。

(2) アイデンティティ管理技術の標準化調査研究

多種多様な公的情報サービスを電子化するにあたり、業務に応じた、利便性のよい本人認証方式を使ったアイデンティティ管理方式を検討する動きがある。本年度に調査した IAF/EAA などの規格は、この方向にむけた規定内容をもつものであり、現場からの要件に合う規格化の方向が提案できれば、電子政府の方式を民間に普及する上で基礎とすることができる。

3. 本事業により作成した印刷物等

次の 2 テーマの成果報告書を PDF ファイルに編集し、1 枚の CD-ROM に収録いたしました。

作成数は 210 枚です。

平成 20 年度（個人化情報の活用と管理技術の標準化調査研究補助事業）調査研究報告書 CD-ROM 集

- ・ 個人化情報交換のための標準化調査研究 成果報告書
- ・ アイデンティティ管理技術の標準化調査研究 成果報告書

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名称： 財団法人 日本規格協会（ニホンキカクキョウカイ）
住所： 107-8440
東京都港区赤坂 4-1-24
代表者名： 会長 佐々木 元（ササキ ハジメ）

担当部署 : 情報技術標準化研究センター(ジョウホウギジュツヒョウジュンカケンキュウ
センター)
担当者名 : 所長 秋間 升(アキマ ノボル)
電話番号 : 03-3592-1408
Fax : 03-3592-1412
URL : <http://www.jsa.or.jp/stdz/instac/index.htm>